

プロ直伝！ 巻き髪の基本

スタイルづくりに欠かせないヘアアイロン。

毎日のように使うからこそ気になってしまうのが、“カールの持ち具合”と“熱ダメージ”。

「せっかくかわいく巻けたのに、しばらくするとすぐにダレちゃう…。」

「巻き髪でいろんなスタイルを楽しみたいけど、熱ダメージが気になる…。」

そんな悩みを気にせずに、ヘアスタイルをもっと楽しんでもらうために

ポイントを理解した上で、巻き髪をトライして見ましょう！！

ポイント

1

髪を傷めないためには 巻く前の下地づくりがとても重要！
そもそも髪を傷める原因に3つ考えられます。

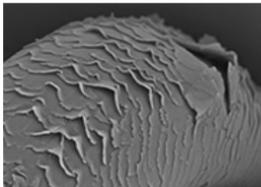
<ヘアアイロンで髪を傷めてしまう原因>

原因1 濡れた状態の髪を巻く

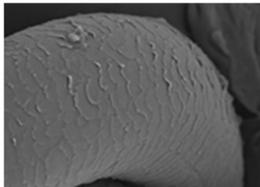
髪が濡れていると、カールがつきづらいうえに必要な水分まで飛ばしてしまいます。しっかりと乾かしてから巻くのが基本です。

原因2 なにもつけずに直に髪を巻く

巻く前には専用の剤を使い、熱から髪を保護しましょう。使用有無で大きな差が！



180°Cのストレートアイロンで
20回スルー（MMなし）



180°Cのストレートアイロンで
20回スルー（MMあり）

原因3 高温設定での長時間使用

同じ部位に長時間アイロンを当てていると髪の毛が焼けてしまい、元には戻りません。

180°C以上の温度設定、同じ部位で3秒以上使用することは避けましょう。

※推奨温度は髪質やダメージ具合によって異なります。

ポイント

2

巻きたてスタイルを長持ちさせるために
ベース剤の使用とブロッキングが重要なポイントです！
そもそも巻き髪が長持ちしない原因に2つ考えられます。

<巻き髪が長持ちしない原因>

原因1 ベースになにもつけずに巻いている

巻く前に専用のスタイリング剤をつけることで、ダメージケアだけでなく持続力もアップします！

原因2 ブロッキングせずに巻いている

毛束の量が多いと熱が伝わりづらく、巻き具合にもムラが出て、カールがダレる原因に。その結果、同じ部位を何度も巻いてしまい、時間がかかるうえダメージにも繋がります。